

川端龍子《春興図》(部分) 1952(昭和27)年



松林桂月《歳寒二雅》

開館時間 | 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 | 1/14(火)、1/20(月)、1/27(月)

観覧料 | 300円・(前売)200円、シニア(65歳以上)150円、
高校生以下/障害者手帳等をお持ちの方(同伴者1名)無料

主催 | (公財)廿日市市芸術文化振興事業団、中国新聞社 後援 | 廿日市市・廿日市市教育委員会

協力 | (公財)ウッドワン美術館・株式会社ウッドワン

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
(廿日市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)

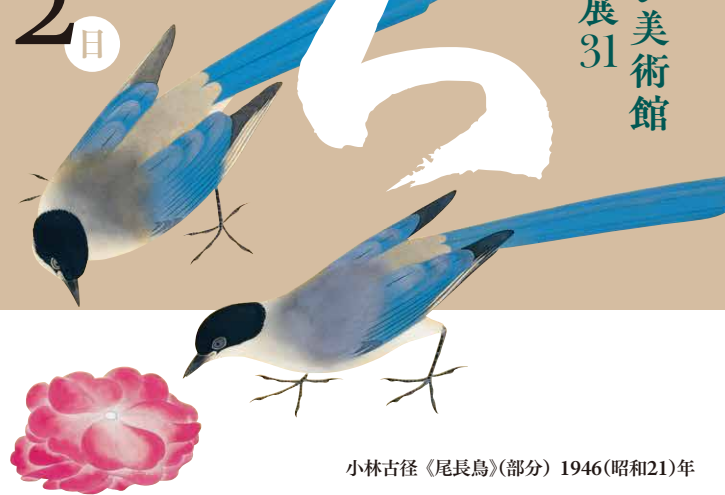
TEL 0829-20-0222 FAX 0829-32-7160 <https://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>



線に宿る のち

ウッドワン美術館
収蔵作品展31

2025
1/8 水
▼
2/2 日



小林古徑《尾長鳥》(部分) 1946(昭和21)年



村上華岳《文殊菩薩》1918(大正7)年頃



上村松園《夢ものがたり図》1912(大正元)年頃



横山大観《羅浮仙》1919(大正8)年



小林古徑《尾長鳥》1946(昭和21)年

線に宿る いのち

ウッドワン美術館
収蔵作品展31

ウッドワン美術館収蔵作品展は、1996年の開館以来、ウッドワン美術館の収蔵品の中から精選して紹介する展覧会です。31回目となる今回は、「線に宿るいのち」と題し、花鳥画や人物画など、描線の美しい日本画の作品を約20点展覧します。日本画のいのちともいわれる「線」。筆によって描かれる描線は、運筆の方法によって、しなやかで柔らかなものから、張り詰めた緊張感のあるものまで、多様な表現を可能にします。絵画に引かれた一本の線は、対象の形という表面的な部分を写し取るだけでなく、対象の内面に宿る美しさをも表現したものであり、線の引き方ひとつで作品の出来が決まると考える画家もいるほどです。本展覧会では、厳格な美しさを持つ「鉄線描」や、抑揚のあるおらかな「肥瘦線」など、優美な筆の動きに着目した展示となっております。日本画の世界をお楽しみください。



次回展覧会のご案内
きッズ・あーと2025、中学校合同美術展
2025年2月13日(木)～2月23日(日)

交通案内

- 広電宮島線「甘日市市役所前(平良)」駅から徒歩7分
- JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩15分

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県甘日市市下平良一丁目11番1号
(甘日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)
TEL 0829-20-0222 FAX 0829-32-7160

